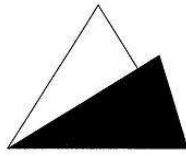


労山

おかやま



Okayama Workers'
Alpine Federation

2022年5月号 第489号

5月1日

発行 岡山県勤労者山岳連盟

HP <http://okayamakenren.web.fc2.com/>

編集：岡山県連盟機関紙委員会

(谷川治 福田豊彦 田鍋可勝 吉房一子)



種松山(倉敷市)の花と工業地帯展望(4月15日)

1P 表紙、目次

2-3P 雪上技術講習会報告

松江アルペンクラブ 野村恭一

岡山勤労者山岳会 中村政裕

4P 2022年度第52回定期総会案内

5P 後山 みまさか 福田豊彦

6P 登山時報拾い読み(4月号)

7P 理事会報告(第10回)

8P 行事予定・編集後記

2021年度 県連安全登山講習⑥

国際山岳ガイド 近藤邦彦氏による「雪上技術講習会」報告

日時 2022年4月3日(日) 8:00～16:00

場所 大山寺～元谷

講師 国際山岳ガイド 近藤邦彦氏

参加者 9名……岡労3、倉労1、KHC1、SCMC1、MONTATA1、松江アルペン2(島根)



写真撮影：SCMC 宮本勇

雪上技術講習会に参加して ～近藤邦彦さんに会いに行く～

松江アルペンクラブ 野村恭一

近藤邦彦さんにお会いすることも初めてならば、プロガイドの方の講習を受けるのも今回が初めてでした。

装備や動作について、指摘された点は数知れず。しかし理論的で終始穏やかな近藤さんに言われると「そうか」「なるほど」と納得してしまう。

ハーネスの種類について。ザックの外側の付属品は最小限に。アイゼンを付けた状態での歩行。手袋について。滑落停止訓練は無駄。写真は撮るな。キックステップの実践。小指ほどの太さの枝を使った支点の構築。セカンドビレイの方法。

自分のものにしないで。あとは繰り返し実践あるのみ。あっという間の1日でした。

実は一番驚いたのが、近藤さんの歩くスピードの速さ。登りも下りもついて行くことが出来なかった。自分が普段いかに野山を歩いているかよくわかる。とはいえ、嘆いていたってしょうがない。気持ちのギアを一つ上げてみますか。

講師の近藤さんはもとより、岡山県連の加治さんをはじめ参加された皆様に感謝いたします。楽しかった。本当にありがとうございました。



～雪上技術講習会に参加して～

岡山勤労者山岳会 中村政裕

4月3日、近藤邦彦さんの雪上技術講習会に参加させていただきました。昨年の秋に岡山勤労者山岳会に入会させていただいた私は、初めての雪山シーズンで先輩方の後を拙い歩行技術で四苦八苦しながらついて回る状態でした。そんな中、日程変更により急遽この講習会に参加できるようになったことは私にとって大きな僥倖でした。

雪上技術講習は、当日の雪質や積雪量、天候や参加メンバーの技術によって出来ることは様々なようでしたが、この日はまず前日からの気温低下によって固く締まった雪を利用し、アイゼンを装着した歩行技術訓練から始まりました。アイゼンはその爪を最大限利かして歩行するため、「フラットフィッティング」が最も重要であり、これを意識した登行、下降、トラバース、斜登行の方法を訓練しました。特に斜登行において、方向転換時には谷側の足を十分利かせた状態から、山側の足を転換方向に向ける技術は今まで実践しておらず目から鱗が落ちました。その後、さらに斜度が急な場所で「フロントポインティング」とピッケルを利用した登降、トラバース訓練を行いました。下降時のピッケルの位置は常に意識しておきたいと思います。



元谷に入ってから、アイゼンを外した状態でキックステップによる登降訓練を行いました。雪上であんなに細かくかつ素早くキックステップで登降したことは無く、深く蹴りこんで足元を安定させる意識付けが出来たと思います。しかし、固い雪壁への蹴りこみでは技術不足を痛感させられ、体幹の不安定さや不要な力が加わっていることを実感することができました。

ザイルワークでは残雪期におけるアンカーの構築理論を体験することができました。小指ほどの細木にもかかわらず、大人5人のアンカーを構築できる技術、理論には驚愕しました。また、雪上での細木3本でのアンカー構築でも流動分散のポイントなど技術的重要な点をご教授いただきました。相互訓練ではムンターヒッチ、エイト環を使用したビレイの練習を行い、セカンドからトップに移行するマルチピッチのシステム的一端を学ぶことができました。

講習中の雰囲気は、近藤さんが常に気さくに山行道具や体験談などで話を盛り上げてくださったこともあり、終始和やかで明るく楽しいものでした。非常に多くのことを学んだ得難い時間であり、楽しい講習であり改めて参加できたことを嬉しく思っています。

今後もこのような講習会には積極的に参加していきたいと思います。最後になりましたが、このような講習会を企画してくださった近藤さん、岡山県勤労者山岳連盟教育委員長の加治さんには厚く御礼申し上げます。



後山 (1344.4m)

みまさか山の会 福田豊彦

昨年5月23日に後山に登った。

美作市では市内の山のトレッキングマップを作成し、市民などに登山を勧めている。

後山は中でも、岡山県最高峰の山であり、駒の尾山、鍋ヶ谷山、船木山、後山を美作アルプスと紹介している。

この日は、10:00に後山キャンプ場に車を停めて船木山へと向かった、沢沿いの道を2ヶ所の渡渉をして船木山に11:30

後山には12:00に着いた。

途中道標や鎖場を手入れしていたが、登山者にはほとんど出会わなかった。

予定ではPHとしていたが初心者と一緒だったので、駒の尾山経由で下山した途中、登山者に多く出会ったが西粟倉から登山口まで来るまで上がってきたようである。駒の尾山14:30後山キャンプ場16:40に到着した。

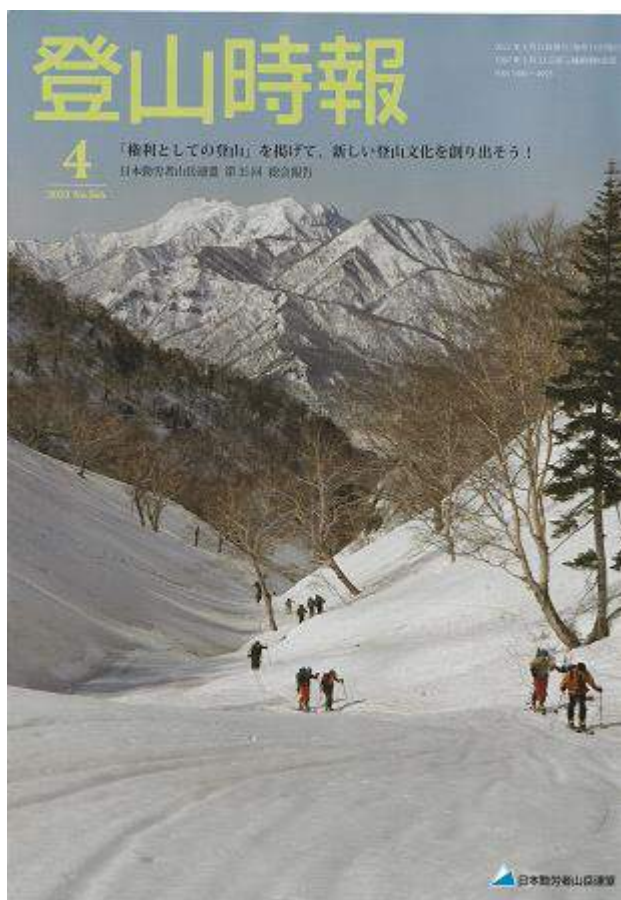


後山のキャンプ場から沢すじが登山

駒の尾山から船木山方面を望む

道になっているがいつもキャンプ場から尾根を

1136M地点を通過して登るほうが楽ではないかと思ってしまうのは私だけだろうか。



- 01 花、日本の固有種 松永秀和
- 04 連載 山を楽しむ写真講座 宮本宏明
- 08 連載 白神便り 原田勇成
- 10 ふみあと 新たなる地平へ 川嶋高志
- 11 連載 子づれ山さんぽ 武井真理
- 12 第35回総会報告
- 16 雪崩と風 酒井正裕
- 18 積雪期登山事故防止の取り組みについて
- 19 山楽登山の世界
- 20 シリーズコロナ禍で登山環境はどう変わったのか
田上千俊
- 22 連載 アドベンチャートラベル 大蔵喜福
- 24 連載 山登りのためのやさしい気象講座
野尻英一

- 26 連載 事故防止は仲間の知恵で
疋田吉継・中川和道
- 28 専門委員会活動報告
- 31 全国連盟の活動
- 32 マンガ フウフウハアハア 村松孝一
- 33 インタビュー ひと 田中純平さん&タマ
- 34 連載 地図読み迷人
宮内佐季子 小泉成行 監修：村越真
- 36 連載 会・クラブ紹介 かがりび山の会
- 38 ミニガイド 西上州 御荷鉾山/赤久縄山
- 39 筑井孝子のちょっと人物・物をうまく描こう
あらかると 石井光造
- 40 連載 山の自由帳 篠塚優

2021年度第10回理事会報告

2022年4月13日作成

日時：2022年3月23日（火）19：00～21：00

場所：ゆうあいセンター 会議室

出席者：11名 欠席者：2名 全：13名

1、報告

(1) 会計報告（久世会計部長）（各理事に送付済）

➢50周年記念事業 38,750円旅費支出、記念誌以外の経費終了。

(2) 50周年記念事業講演会（小林副会長）

・3月5日 10：00～12：30

岡山県国際交流センター8階イベントホール
参加者74名

➢実施報告 労山おかやま 4月号3～5頁

(3) 総会準備について 専門委員会の報告

・機関紙委員会の報告（谷川機関紙委員長）

3月8日（火）20：00～ ZOOM会議

➢労山おかやまと各会の会報について意見交換。

・自然保護委員会報告（田鍋自然保護委員長）

3月18日（金）19：00～20：30

➢2022年度クリーンハイクの実施予定。

岡労 倉労未定 THD(6/26) KHC(6/5)

PFC SCMC(6/4) NHC MONTATA(7

月)予定。

・ハイキング委員会報告

（笠井ハイキング副委員長）

3月22日（火）18：30～

➢今年度の活動報告と来年度の活動予定 各会の山行の合間をぬって交流ハイクを実施したい。

2、議題

(1) 50周年記念誌について（谷川機関紙委員長）

編集・発行＝記念誌委員会

・記念誌は3月末までに発刊予定 → 完成は次年度に。

➢8割程度完成、連休明け発刊。

(2) 安全登山講習（加治）

イ) 雪上技術講習 2022年3月26日（土）大山
講師 近藤邦彦氏

ピッケル・アイゼンワーク

➢定員20名（岡労5 倉労2 KHC2 SCMC1

山口3 広島5 島根2）

➢天気予報により朝から雨なら中止。

(3) 2022年度行事予定について

イ) 県連安全登山講習会

新・・・愛知県連洞井さん

その他は例年通り

ロ) 中地協ハイキング交流集会 確認中

➢中地協代表に確認中。

(4) 総会準備について 定期総会 5月22日（日）

10：00～15：00 岡山国際交流センター

イ) 議案書（加治）

・各委員会を開催し、3月31日までに原稿を事務局まで提出。

・各会の活動報告・活動計画は4月上旬までに提出。

・印刷部数（ ）

ロ) 第3号議案 規約改定 第1条 会費見直し（小林副会長）

ハ) 2022年度予算案について（久世会計部長）

➢繰越金を基金に積立ててはどうかとの意見。

ニ) 県連理事の交替について

➢みまさか THD 申出あり

ホ) 総会ゲストについて

・全国連盟 川嶋理事長に依頼

ヘ) 各専門委員会の日程

・女性委員会 ➢3月中にZOOMで開催予定。

・組織委員会 ➢書面。

ト) その他

・議長 2022年度 みまさか THD
2022年度 KHC PFC

・代議員名簿作成

・昼食の注文

(5) 次号「労山おかやま」の編集案提案と記事原

稿分担（谷川機関紙委員長）

編集案に沿って協議。

原稿締め切り4月13日（常に印刷の1週間前）

印刷は4月20日（火）

(6) 第7回吉備路の山全山縦走大会（盛重理事）

今後の理事会日程

2022年4月20日（水）19時00分より

ゆうあいセンター（きらめきプラザ内）

2022年5月18日（水）19時00分より

ゆうあいセンター（きらめきプラザ内）

県連・各会 '22年5月～年6月 行事・山行予定表

'22年5月

(太字は県連行事)

'22年6月

(太字は県連行事)

	曜	予	定		曜	予	定
1	日	船通山(NHC)		1	水		
2	月			2	木		
3	火			3	金	由布岳・鶴見岳(～5)(SCMC)	
4	水			4	土	クリーンハイク・熊山(SCMC)	
5	木			5	日	クリーンハイク:天銀山(NHC)、福山(KHC)、 中国自然歩道⑤(SCMC)	
6	金						
7	土	土佐矢筈山・小桧曾山(SCMC)		6	月		
8	日			7	火		
9	月			8	水		
10	火			9	木	大船山・久住山(～11)(KHC)、木野山(KHC)、 礼文島・利尻島(～13)(SCMC)	
11	水						
12	木			10	金		
13	金	隠岐島(国賀海岸外)(～15)(SCMC)		11	土		
14	土	御在所岳・入道ヶ岳(～15)(NHC)		12	日	虎丸山(KHC)、船上山・甲ヶ山(NHC)	
15	日	黒髪山、愛宕山(THD)、大和葛城山(KHC)		13	月		
16	月			14	火		
17	火			15	水		
18	水	県連理事会、皆子山・芦生の森(～19)(KHC)		16	木		
19	木			17	金	浅原・裕安(KHC)	
20	金			18	土	第26回救助隊定期総会、若狭街道(～19)(SCMC)	
21	土	皿ヶ峰(KHC)、SCMC 総会		19	日	疑宝珠山～像山(THD)	
22	日	県連第52回定期総会:国際交流センター		20	月		
23	月			21	火		
24	火			22	水		
25	水	屋島(KHC)		23	木		
26	木			24	金		
27	金			25	土	伊予富士(KHC)	
28	土	金時山・瑞牆山(SCMC)		26	日	地形図勉強会、クリーンハイク:王子ヶ岳(THD)	
29	日	聖山・高岳(SCMC)		27	月		
30	月			28	火		
31	火	高梁自然公園(KHC)		29	水		
				30	木		

<編集後記>

ロシアがウクライナへ侵攻した、明らかに他国に対する侵略です。1931年(昭和6年9月)中国奉天北方の柳条湖で満鉄線が爆破された(関東軍高級将校による陰謀であった)のを中国側の攻撃だとして、日本の関東軍が中国軍に対し攻撃を開始し(満州事変)満洲全域を日本の支配下にし、1932年7月満州国(日本の傀儡国)建国に至りました。軍隊の力で他国を侵略し支配するやり方、なんと戦前の日本軍のやり方と似ていることか。プーチン大統領は、ウクライナの「ネオナチ勢力」からロシアを守るため軍を派遣したという。当時の日本軍は、「満蒙は日本の生命線」だとして満州を占領した。勝手な理屈のつけ方といい、武力に訴えるやり方といいホントによく似ています。(結果は悲惨な結末です)

手前勝手な論理と、軍による問答無用の現状変更はミャンマーだけかと思っていたのですが。ちなみに、ロシアの経済は化石燃料の輸出に依存、GDPは伊国の8割、人口は中国の1割となれば指導者の焦りもあったのかなと思います。

(T・Y)